

菊池学級は奇跡なのか

中田 啓太

○菊池学級の取り組み

・ほめ言葉

ほめることでよいことに価値づけ→よいこととは何かを理解する→ほめられることで子供たちに
自信（自己肯定感の向上） →自信が出てくると心に余裕が出てくる→周りのクラスメイトのよ
いところを見つけようとする（他者理解）→教室にいることへの**安心感**につながり教室での自
分の居場所を見つけられる

・コミュニケーション

自分の思い・考えを素直に相手に伝える→言葉を使って伝えられる
相手の意見を真剣に聴くことができる→知ることができる、聴いてくれる（**安心感**）

○岐阜県教育ビジョンより抜粋

・子どもたちが3つの力（**1 自立力・2 共生力・3 自己実現力**）をバランスよく身に付けること
で、一人一人の多様な個性や能力を開花させる。

1、自立力 自己肯定感に裏付けされた自信に基づき、生涯を通して自ら学び、自ら考え行動し、社会の変化に主体的に対応しながら、たくましく生き抜いていく力。

2、共生力 他者との共感や思いやりの心に基づき、「人と人、人と社会、人と自然」との関わりやつながりを大切にし、協調性をもって豊かな人間関係を広げ深めていく力。

3、自己実現力 想像力と創造力を発揮しながら、高い志をもって夢に挑戦し続け、グローバルな視野で様々な課題を考えつつ、身近な地域や社会の発展のために貢献できる力。

5つの基本目標より

1、確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進

・学力や社会人としての望ましい資質の育成を図ります。

・他者との違いを認めながら、自分を取り巻く人々と共生していける人づくりを目指します。

2、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

・子どもたちが仲間と学び合いながら望ましい人間関係を築き、他者への思いやりや助け合うことの大切さを理解することで豊かな心を育む。

このように見ていくと菊池学級の取り組みというのは特別なものではなく、岐阜県で目指されているものとも共通点が多くあるということがわかる。

そう考えると、菊池学級の取り組みというのは奇跡ではなく、菊池学級の成長が奇跡と呼べるのではないのかと考えた。

今後は、これらの実践を利用したり、自分なりの実践を考えていこうと思う。